

# 東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業

予算額 15,000千円

## 1 事業の目的・概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功を支えるとともに、開催効果を本県の一層の発展につなげるため、経済、交通、観光、スポーツ、文化、国際交流、行政など各分野の代表者で構成する「東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議」を開催し、具体的な取組を推進します。

## 2 事業内容

### (1) 推進会議の開催

推進会議において、各団体間で情報共有、連携・協力を図りつつ、基本方針に基づく戦略の策定及び戦略に基づく事業の推進を統括します。

・構成員：知事、各分野の代表者35名、年3回程度開催予定

### (2) キャンプ誘致プロモーション等

キャンプや国際大会の誘致、競技力の向上、外国人の受入体制整備、魅力ある観光地づくりなどの取組を推進するため、取組の分野別に関連する団体で構成する専門部会を開催し、キャンプ誘致に向けたプロモーション等の具体的な取組を推進します。

### 2020年東京オリンピック・パラリンピックCHIBA 推進会議

#### 推進会議

委員：各分野の代表者（経済、交通、観光、スポーツ、文化、国際交流、行政）  
目的：官民連携による取組を実施するための戦略の策定・推進を統括する

#### 専門部会

委員：各部会が所掌する取組に関連する行政、企業、大学等の実務担当者で構成  
目的：戦略を実現するため、専門的な見地から具体的な取組の検討及び推進

1. キャンプ・国際大会・MICE誘致専門部会

2. 競技力の向上・スポーツの普及専門部会

3. 成田空港の利便性向上、交通ネットワーク・アクセスの強化専門部会

4. バリアフリー化の促進専門部会

5. 外国人受入体制専門部会

6. 魅力ある観光地づくり専門部会

7. 危機管理・安全対策専門部会

8. 機運の醸成・国際交流の促進専門部会

9. 千葉の魅力発信専門部会

担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課

043-223-2202

# 北京世界陸上事前合宿受入事業【新規】

予算額 77,000千円

## 1 事業の目的・概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿誘致に繋げるため、市町村や大学等との連携のもと、2015年北京世界陸上の事前合宿を受け入れます。

## 2 事業内容

### (1) アメリカ合衆国事前合宿

参加人数：約200名

合宿時期：平成27年8月

練習会場：中台運動公園（成田市）、岩名運動公園（佐倉市）、順天堂大学

(2) その他、数ヶ国と事前合宿の実施に向けて交渉を進めています。

## 3 事業費の内訳

合宿受入業務委託（運搬、警備、メディア対応）65,485千円

設備等賃借料4,600千円

通訳等経費 6,915千円

※渡航費、宿泊費、食費は各国選手団が負担

## 4 事前合宿の受入に伴う効果

- ・本県のキャンプ地としての評価が高まることにより、今後のキャンプ誘致活動が有利に進められるとともに、スポーツツーリズムによる来県者の増加が期待されます。
- ・スポーツの振興、国際交流の進展による地域の活性化が期待されます。
- ・本県のイメージ向上や、有力選手の来県に伴う観光客の増加等による経済効果が見込まれます。

### 第15回 IAAF世界陸上競技選手権 北京大会

主催：国際陸上競技連盟（IAAF）

期間：平成27年8月22日（土）～30日（日）（9日間）

会場：中国・北京 Bird's Nests Stadium

大会規模：参加国 約200カ国

参加選手 約2000名

競技種目数 男子24種目、女子23種目

担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課  
043-223-2202

# 国際スポーツ競技大会支援事業【新規】

予算額 10,000千円

## 1 事業の目的・概要

オリンピック・パラリンピックにつながる国際スポーツ大会の誘致を推進するため、大規模な国際スポーツ競技大会の開催に対する補助制度を創設します。

オリンピック・パラリンピック競技を実際に「みて」「ふれて」「ささえて」もらうことにより、スポーツへの関心を高め、東京オリンピック・パラリンピック大会に対する県内の機運を盛り上げます。

## 2 事業内容

### (1) 補助対象事業

東京オリンピック・パラリンピック実施競技のうち、世界選手権やアジア選手権、オリンピック・パラリンピックへの出場を決める国際大会で、参加者、関係者等の宿泊や終日滞在が相当数伴うもの

### (2) 事業主体

市町村又は、県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

### (3) 補助率・限度額

特に大規模な大会	条件	県外又は海外から、延べ500名以上の宿泊又は1万名以上の来訪
	補助率・上限	経費の1/4以内、20,000千円上限
上記以外の大会	条件	県外又は海外から、延べ100名以上の宿泊又は300名以上の来訪(300名以上の宿泊又は5,000名以上の来訪が望ましい)
	補助率・上限	経費の1/4以内、10,000千円上限

## 3 国際スポーツ競技大会の開催に伴う効果

- ・県内市町村等の国際大会の開催実績をアピールすることにより、さらなる国際大会の誘致に繋がることが期待されます。
- ・世界における本県の知名度を向上させるとともに、千葉の魅力を国内外に発信する絶好の機会となります。
- ・スポーツの振興や、国際交流の進展による地域の活性化に寄与することが期待されます。

(参考) 想定される国際大会の例

- ・2012トライアスロンアジア選手権(館山市)

担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課  
043-223-2202

# 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた 千葉県イメージアップ動画の制作【新規】

予算額 15,000千円

## 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピックを見据え、キャンプの誘致や外国人観光客を増加させるためには、訪問地や宿泊地として千葉県が選択され、また、その後も繰り返し訪れてもらうことが重要です。

そこで、世界各国・地域の競技関係者や観客等に対して、キャンプ地や訪問地としての魅力をアピールする動画を制作し、本県の知名度向上やイメージアップを図ります。

## 2 事業内容

世界中の誰にでも分かりやすく、キャンプ地や訪問地として千葉の魅力を印象づけるため、映像とBGMのみで訴求できるイメージアップ動画を制作します。

## 3 主な活用方法（想定）

- ・ キャンプ誘致のプロモーション活動の際に、冒頭に動画を放映し、短時間で本県に対する好印象を与えることで、後のプレゼンテーションを効果的なものにする。
- ・ 内容を収録したDVD等を、各国大使館等に対するキャンプ誘致のPRに活用する。
- ・ インターネットを活用し、世界に向けて映像を配信する。 等



東京湾アクアライン



海越しの富士

担当課・問い合わせ先  
総合企画部報道広報課  
043-223-2256

# 通訳ボランティア養成事業

予算額 7,000千円

## 1 事業の概要

東京オリンピック・パラリンピック開催時には、成田空港がある本県にも多くの外国人の方が訪れ、様々な場面で多言語によるコミュニケーションの支援が必要となります。そのため、市町村や国際交流協会と連携して、通訳ボランティアの養成に取り組みます。

## 2 事業内容

### (1) 通訳ボランティア養成検討会議の設置

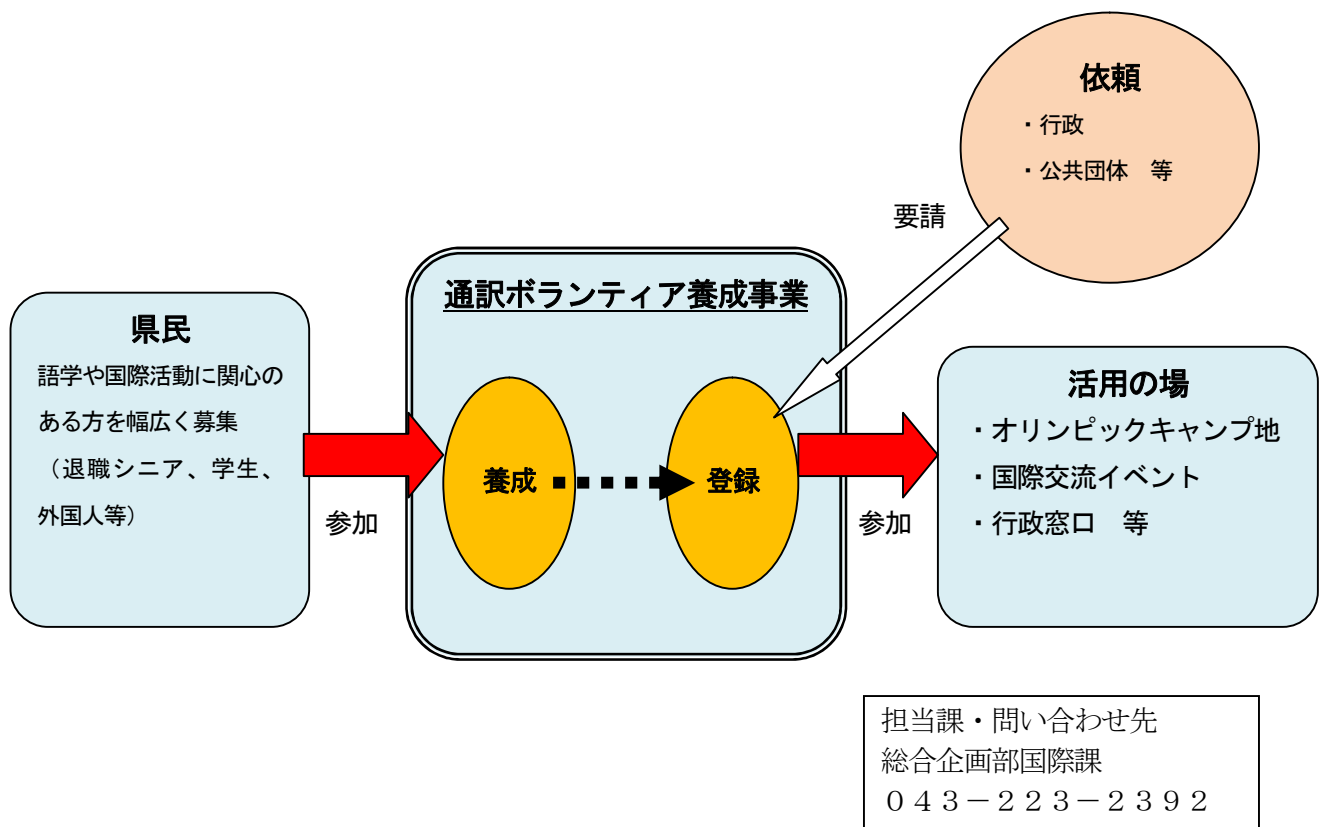
通訳ボランティア等の活用体制を構築するため、市町村関係団体、県内大学関係者等による検討会議を実施します。

- [検討内容]
- ・市町村域を超えた広域的な派遣・活用体制について
  - ・登録後のボランティアの活用方法について
  - ・オリンピック開催時、キャンプ地等での活用方法について

### (2) 通訳ボランティア養成研修

実際に通訳ボランティアとして活躍する人材を養成するための講座を実施します。また、併せて通訳ボランティアの養成・研修等を担う指導者を養成します。

- [講座の内容]
- ・通訳ボランティア養成研修（英語）
  - ・通訳ボランティア養成研修（英語以外の言語）
  - ・通訳ボランティア指導者養成研修



# 総合スポーツセンター武道館空調設備整備事業【新規】

予算額 14,130千円

## 1 事業の目的・概要

総合スポーツセンター武道館において、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致を進めるため、柔道競技をはじめ、他競技のクールダウン等の場としての使用も想定し、新たに空調設備を整備します。

## 2 事業内容

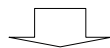
### (1) 総事業費

356,622千円（H27：14,130千円、H28：199,548千円、H29：142,944千円）

### (2) 事業期間

平成27年度～平成29年度

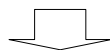
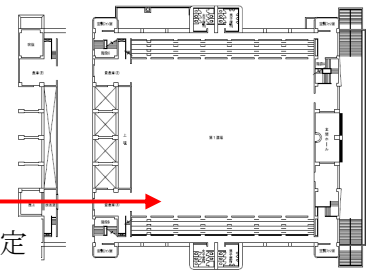
平成27年度 実施設計



平成28年度 空調工事（1期）第1武道場

平成29年4月供用開始予定

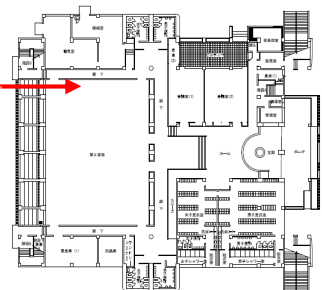
2階平面図



平成29年度 空調工事（2期）第2武道場他

平成30年4月供用開始予定

1階平面図



平成32年度 東京オリンピック開催

## 武道館の現状



### 〔施設概要〕

構造：鉄筋コンクリート造2階（昭和56年築）

延床面積：7,445㎡（第1・2道場、会議室等）

収容人員：624名

☞既に数カ国が視察に訪れており、その際、空調整備の声が寄せられています。

担当課・問い合わせ先  
教育庁教育振興部体育課

043-223-4106

# 千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業【新規】

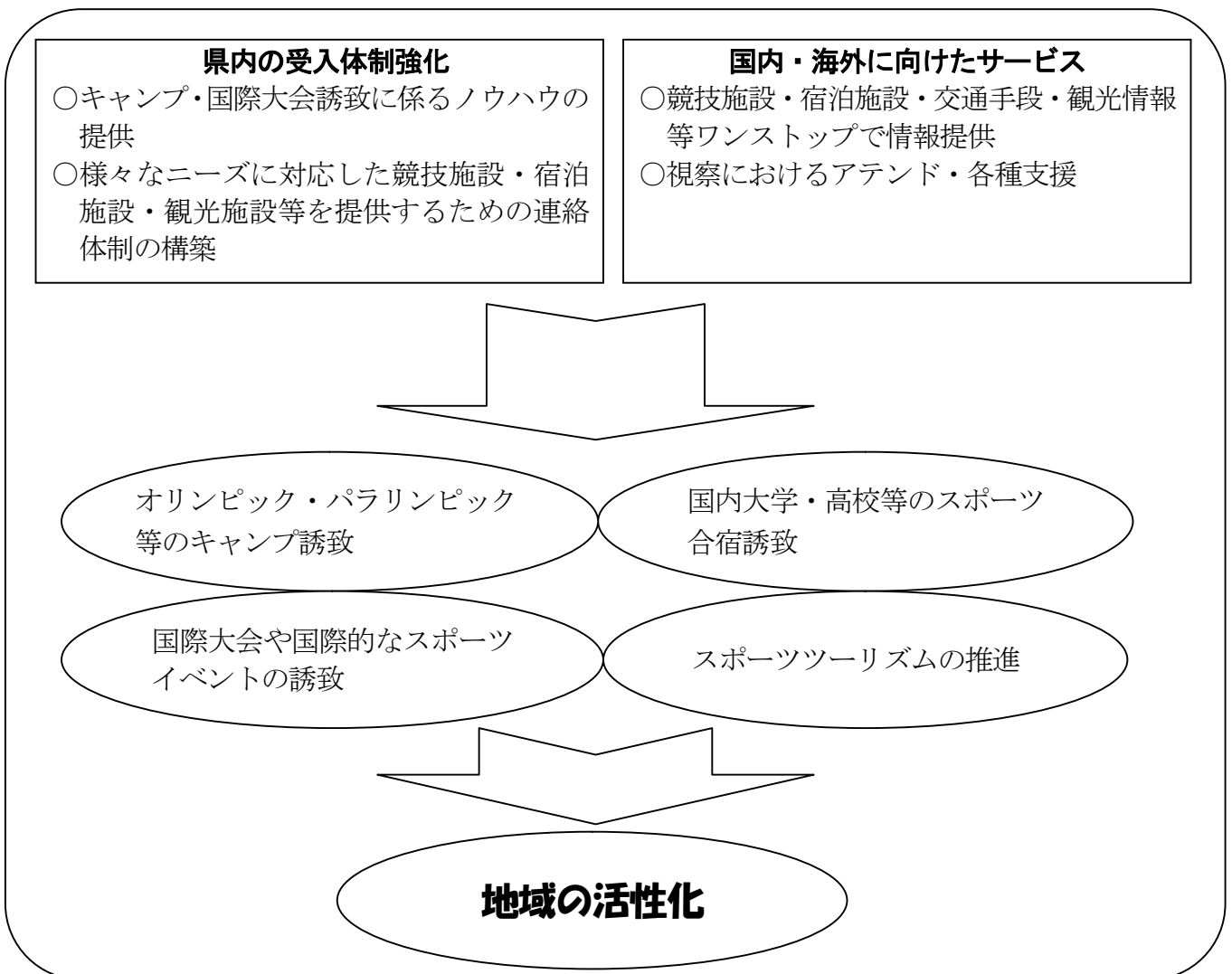
予算額 24,500千円

## 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピックやプレ大会のキャンプの誘致を進めていくため、競技施設や宿泊施設をパッケージ化したキャンプ情報の提供など各種支援をワンストップの窓口で提供します。

また、スポーツツーリズムによる本県への来訪者を増加させ、交流人口の増加による地域活性化を実現させるため、新たな国際大会や国際的なスポーツイベント、国内の大学・高校の合宿の誘致などを行います。

## 2 事業内容



担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課  
043-223-2202

# パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金【新規】

予算額 18,000千円

## 1 事業の目的・概要

パラリンピック競技のキャンプ誘致に向けた機運を醸成し、キャンプ誘致に取り組む市町村を支援するため、選手と市民との交流会や、国内トップ選手によるモデルキャンプの実施等にかかる費用を助成します。

## 2 事業内容

### (1) 交流会等の開催への補助

[補助対象者]市町村又は、県内市町村が構成員となる団体

[補助対象事業]パラリンピック選手や競技団体等と市民との交流会の開催に要する経費

[補助率・限度額] 1/2以内 1,000千円

### (2) 国内トップ選手等によるキャンプの実施への補助

[補助対象者]市町村又は、県内市町村が構成員となる団体

[補助対象事業]パラリンピック選手のキャンプ誘致を行うために実施する、受入宿泊施設従業員向け研修会、国内トップ選手等によるモデルキャンプ、セールスポイントの整理、誘致戦略への活用に必要な経費

[補助率・限度額] 1/2以内 3,000千円

(参考) 平成26年度事業実施の状況 (H26は県事業として実施)

日時：平成26年11月15日～16日

場所：吉田記念テニス研修センター（柏市）

概要：車いすテニス講習会、体験講座、エキシビションマッチ 等

車いす参加選手：国枝慎吾選手（世界ランキング1位）他

参加者：約400名（2日間の延人数）



【車いすテニス講習会】



【エキシビションマッチ】

担当課・問い合わせ先

総合企画部政策企画課

043-223-2202



# 東京オリンピック・パラリンピック関連施設に関する貸付事業

【新規】

予算額 300,000千円

[特別会計市町村振興資金]

## 1 事業の目的・概要

市町村振興資金に、新たに東京オリンピック・パラリンピック関連施設に係る無利子の貸付事業を創設し、キャンプ誘致に向けて市町村が実施する競技施設の整備等を支援します。

## 2 事業内容

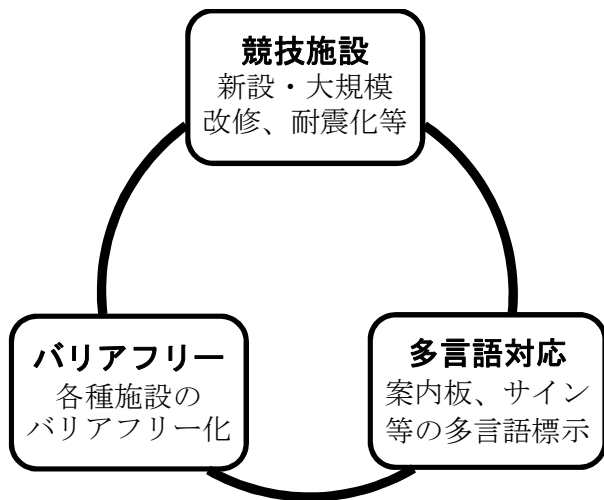
【貸付対象】東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致を位置付けた基本方針を策定している市町村等が実施する、競技施設の整備、バリアフリー化、多言語対応

【貸付利率】無利子

【貸付対象年度】6年間（平成27年度から平成32年度）

### <市町村振興資金貸付事業 一覧>

資金の種類		予算額 (千円)	貸付利率	貸付期間	償還方法
一般事業	公共施設又は公用施設の建設事業等	1,000,000	財政融資資金利率の1/2	原則12年以内 (据置期間2年以内)	元利均等年賦償還
特別事業	<b>東京オリンピック・パラリンピック 関連施設等整備事業【新規】</b>	<b>300,000</b>	<b>無利子</b>		
	防災施設等整備促進事業	400,000	無利子		
	市町村合併支援事業等	400,000	無利子 等		
計		1,100,000			
合計		2,100,000			



担当課・問い合わせ先  
総務部市町村課  
043-223-2131

## 海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業【新規】

予算額 10,000千円

### 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピック等に向け外国人観光客の増加が見込まれますが、受入にあたっては、文化や風習、宗教などの違いから、一層の心配りが必要になる場合があります。

このため、海外からの訪問客にも満足いただけるような先進的なおもてなしについての情報を共有するため、県内の観光・宿泊施設の経営者や従業員を対象とした講習会を行い、オール千葉でのおもてなし力の向上を図ります。

### 2 事業内容

#### (1) おもてなしマネジメント研修（経営陣対象）

- ・ 外国人向けの情報発信
- ・ 従業員のモチベーションの向上
- ・ 外国人客の受入等の留意点 等

#### (2) おもてなしスタッフ研修（従業員対象）

- ・ 文化や習慣の違い等を理解したうえでの接客・サービス  
(ハラル等の食材・食べ方などの説明方法等)
- ・ 初歩の語学講座 等



外国人観光客への接客のイメージ

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419

## 訪日観光客商店街おもてなし事業【新規】

予算額 10,000千円

### 1 事業の目的・概要

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客が増加することが見込まれます。

そこで、商店街による接客力の向上や情報発信など、日本を訪れる外国人観光客を「おもてなし」の心で迎え入れ、積極的なコミュニケーションを図るための商店街による取組を支援します。

### 2 事業内容

#### (1) 事業実施主体

商工会・商工会議所、商店街団体

#### (2) 補助金交付先

商工会・商工会議所

#### (3) 補助対象事業

○訪日観光客おもてなし講習会（接客マニュアルを活用した接客講座、商店街ガイド(アプリ)の活用方法、SNSを活用した商店街情報発信事業）

○多言語に対応した商店街ガイド（アプリ）の作成

○多言語版商店街マップの作成

○免税制度改正に関するセミナーの開催 など

#### (4) 補助対象経費

専門家謝金、印刷製本費、会場借上費、委託料（ソフト開発費含む）等

#### (5) 補助率

1／2以内

#### (6) 補助限度額

3,000千円



担当課・問い合わせ先  
商工労働部経営支援課  
043-223-2787

# 東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入体制の整備事業

予算額 22,400千円 (H26 5,000千円)

## 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の受入体制を整備するため、外国語を併記した観光案内板や道路案内標識の整備を進めるとともに、千葉県内の歴史や文化、自然、風習などの知識を有する外国語観光ボランティアガイドを養成するため、研修会を実施します。

## 2 事業内容（27年度予定）

### (1) 多言語観光案内板整備事業 10,000千円

日本語と英語を併記した観光案内板について、分かりやすく、見やすい仕様に統一して改修します。

[実施箇所] 8箇所程度を想定

### (2) 道路案内標識英語表記事業 10,000千円

県管理の道路案内標識について、国の示した基準に基づき、英語表記を進めます。

[実施箇所] 成田市 (1路線8箇所) 浦安市 (2路線12箇所)



■実施前

■実施後

### (3) 外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業 2,400千円

一定の外国語能力を有する方に、外国人観光客が訪れる観光地において観光ガイドを務めていただけるよう、説明の方法等（目線、ジェスチャー、子どもの頭をなでないなど）、実践的な養成講座を開催します。



ボランティアガイドのイメージ

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419  
県土整備部道路環境課  
043-223-3140

# 外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 100,000 千円

## 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、今後多くの外国人観光客が本県を訪れることが見込まれます。

外国人観光客の利便性を向上させ、本県の観光地としての魅力を高めるため、県内の公衆無線LAN環境の整備に対する助成を拡充し、外国人観光客が利用する施設等への整備促進を図ります。

## 2 事業内容

(1) 補助対象：公衆無線LAN環境の整備に係る費用

事業主体が策定した整備計画に基づき実施する事業に対し補助します。

(2) 事業主体：市町村、市町村観光協会等で構成される協議会、  
宿泊施設等 (今回から追加)

(3) 補助率：総経費の2/3以内 (従来の1/2から引き上げ)

(4) 補助上限額：1団体あたり5,000千円

公衆無線LAN環境を整備することにより、どこからでも  
千葉の魅力情報が収集可能



担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419



# 東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

予算額 115,000千円 (H26 100,000千円)

## 1 事業の目的・概要

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに、本県選手を1人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手の競技力を強化する取組に対して助成するとともに、新たに障害者競技組織の体制整備や障害者アスリートを強化する取組への助成を開始します。

## 2 事業内容

### (1) 対象

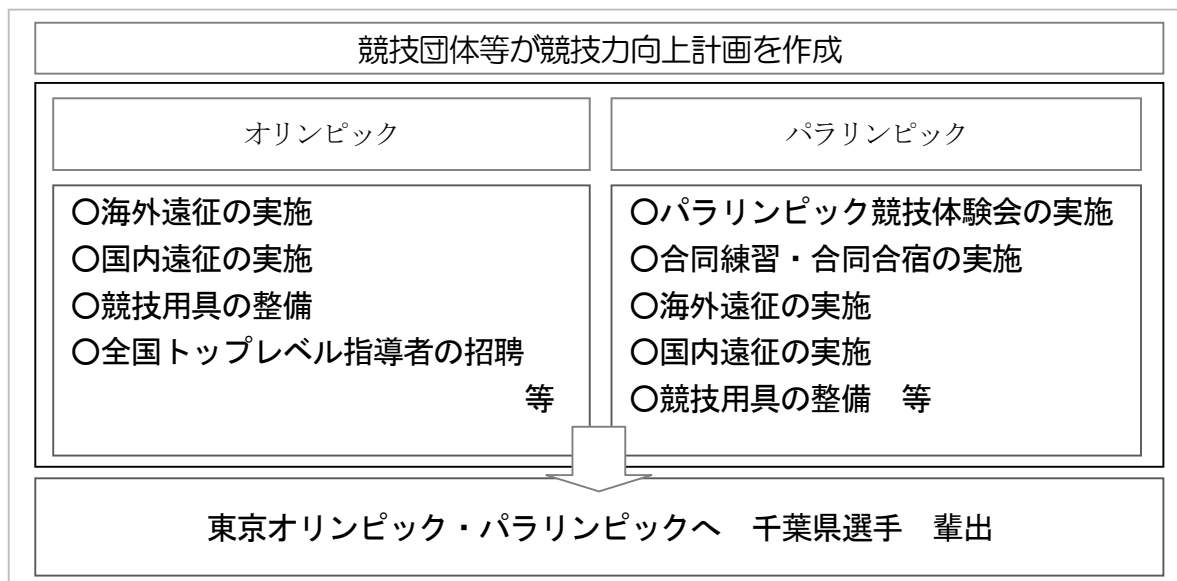
- ・東京オリンピック実施 28 競技のジュニア世代選抜選手 (平成 27 年度 : 13 歳～23 歳)
- ・東京パラリンピック実施 22 競技の選抜選手 (平成 27 年度 : 12 歳以上)

### (2) 強化期間

2014年 (平成 26 年) ～ 2018年 (平成 30 年) : 5 年間

### (3) 実施内容

競技力向上計画に基づく下記の取組に対して助成 補助率 10/10～1/2



担当課・問い合わせ先

教育庁教育振興部体育課 043-223-4104

健康福祉部障害福祉課 043-223-2335

# 東京湾アクアライン料金割引事業

予算額 500,000千円 (H26 500,000千円)

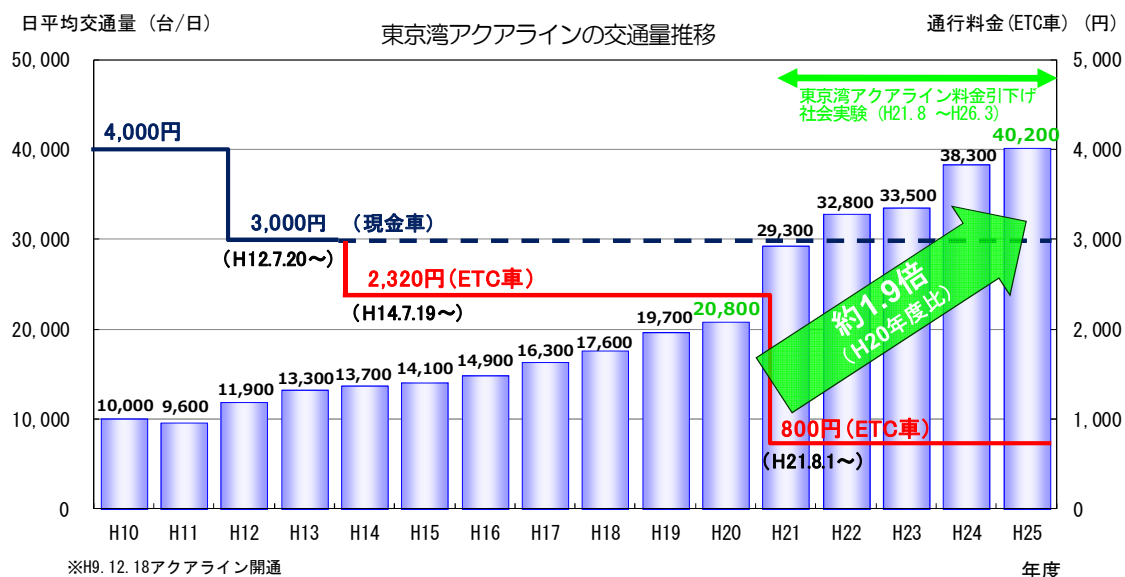
## 1 事業の目的・概要

東京湾アクアラインの交通量は、料金引下げ前の平成20年度に比べて、平成25年度は1.9倍に増加し、特に、平日の大型車は2.7倍に達するなど、「人」「もの」の動きが活発化しています。

地域経済の活性化、首都圏の交流・連携等を通じ、千葉県のパテンシャルをさらに高めるため、東京湾アクアライン通行料金の引下げを継続します。

## 2 事業内容

ETC車を対象に普通車800円など、全日・全車種について引下げを継続します。



### 社会実験 (H21. 8 ~ H26. 3) の効果

#### ○アクアライン交通量の増加 (H20 年度比)

- ・平成 25 年度の交通量は約 1.9 倍に増加  
20,800 台/日⇒ 40,200 台/日
- ・特に、平日の大型車は約 2.7 倍に増加  
3,600 台/日⇒ 9,700 台/日

#### ○アクアライン着岸地における人口増加 (H20 年比)

- ・木更津市：平成 25 年は 5.1% 増加  
124,812 人⇒131,214 人
- ・袖ヶ浦市：平成 25 年は 2.1% 増加  
59,529 人⇒ 60,759 人

#### ○料金引下げによる経済波及効果 (H22 年度調査)

- ・首都圏：約 358 億円 / 年
- ・千葉県：約 249 億円 / 年



東京湾アクアライン

担当課・問い合わせ先

県土整備部道路計画課

043-223-3287

# ちばアクアラインマラソン開催準備事業

予算額 46,000千円 (H26 120,000千円)

## 1 事業の目的・概要

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、本県が有する様々な魅力を発信するため、平成28年度に3回目の「ちばアクアラインマラソン」を開催することとし、運営方法の検討やPRイベントを実施します。

## 2 開催概要

- (1) 開催日程 平成28年秋 (予定)
- (2) 種目等 今後検討

## 3 事業内容 (平成27年度)

- 運営方法の検討、実施計画の見直し
- 交通量・交通規制影響予測調査の実施
- 大会公式ホームページの運営・更新
- 募集パンフレットの作成・配布
- 募集開始告知イベントの開催 (ランナーの募集開始直前に実施予定) 等

《大会当日のアクアライン》



《スタート地点・沿道応援》



## 4 過去の大会の結果等

区分		2012大会	2014大会
完走率	フル	73.8%	85.3%
	ハーフ		91.6%
沿道応援者数		31万人	35万人
経済波及効果		15.10億円	34億円

担当課・問い合わせ先  
 教育庁 教育振興部 体育課  
 043-223-4103



# アクアライン及び圏央道を活用した観光プロモーション

予算額 20,000千円 (H26 5,500千円)

## 1 事業の目的・概要

東京湾アクアライン及び圏央道を利用することにより、本県へのアクセスが向上する地域に、千葉県の魅力をアピールし、観光客の増加を図るための各種事業を実施します。

## 2 事業内容

### (1) アクアライン及び圏央道の延伸開通を活用した観光プロモーション

アクアライン及び圏央道を利用して県内の多くの観光スポットを訪れていただくためのスタンプラリーを実施するほか、圏央道(神崎―大栄間)の開通によりアクセス性が向上する北関東地域等に向けて、「近くなった千葉県」をアピールする観光PRイベントを実施します。

### (2) アクアライン及び圏央道を活用した優待パンフレットの作成

県が実施する夏・秋及び早春の観光キャンペーンに合わせ、観光施設等の優待情報を掲載したパンフレットを作成・配布することにより、キャンペーン時期の観光客の増加を図ります。

### (3) 海ほたる観光案内所の運営

アクアライン経由で来県する人々への観光のPRや、各種問い合わせに対応するため、海ほたるパーキングエリア内で県全域を対象とした観光案内所を運営します。



優待パンフレット

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光誘致促進課  
043-223-2484

# 千葉県道路公社有料道路の夏期無料開放【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 770,000千円

## 1 事業の目的・概要

千葉県道路公社が管理・運営する有料道路について、夏の観光シーズン(7月～9月)の通行を終日無料とします。

## 2 事業期間

平成27年7月1日～平成27年9月30日(92日間)

## 3 対象路線(7路線)

東総有料道路、鴨川有料道路、千葉外房有料道路、東金九十九里有料道路、銚子新大橋有料道路、銚子連絡道路、九十九里有料道路

※房総スカイライン有料道路(南房総地域交通円滑化対策事業として無料通行措置実施中)、流山有料道路(償還完了により平成27年4月14日に無料化を予定)の2路線を除く全路線



# 成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 100,000千円

## 1 事業の目的

成田空港利用者を南房総地域や銚子地域などの県内観光地に呼び込むため、空港から県内観光地を直接結ぶバスを、無料により実証運行します。

## 2 事業の概要(想定)

### (1) 運行方法

成田空港と県内観光地の間を無料で1日4往復程度運行

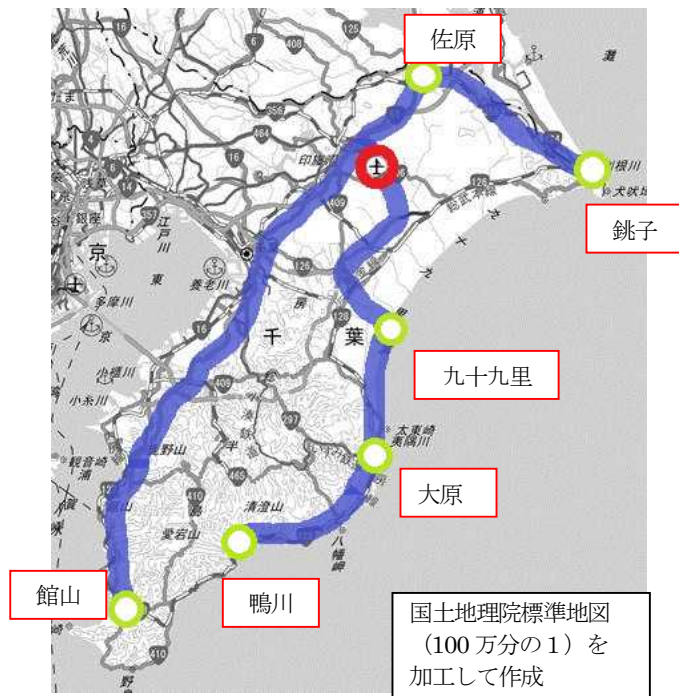
### (2) 運行期間

夏の観光シーズンとなる平成27年7月～8月の2カ月

### (3) 運行区間

現在、成田空港からの直行便がない県内観光地へ運行します。

- ①成田空港－館山、②成田空港－鴨川(九十九里、大原経由)
- ③成田空港－銚子(佐原経由)



### (4) 運行後の検討

バス利用者に対し、利便性、利用目的などについてのアンケート調査を実施し、事業者の今後の路線新設等の検討に活用していただきます。

担当課・問い合わせ先  
総合企画部交通計画課  
043-223-2062

## 宿泊・滞在型観光推進事業

予算額 40,000千円 (H26 40,000千円)

### 1 事業の目的・概要

経済効果の高い宿泊・滞在型観光の促進を図るため、旅行商品の開発、ウェブサイトによる予約システムの整備などの地域の取組に対し助成します。このうち、東京湾アクアライン・圏央道を活用した取組に対しては、引き続き、補助率を嵩上げて支援を強化します。

### 2 事業の内容

#### (1) 補助対象団体

市町村（政令指定都市は除く）、市町村が構成員である団体

#### (2) 補助対象事業

市町村等が主体となって取り組む事業として知事が認めた、観光客の宿泊・滞在の促進に資するソフト事業

#### (3) 補助率

1/2 以内（東京湾アクアライン・圏央道活用事業は 2/3 以内）

#### (4) 補助限度額（1 事業あたり）

ア 複数市町村域内での取組

5,000 千円（東京湾アクアライン・圏央道活用事業は 6,000 千円）

イ 単独市町村域内での取組

2,000 千円（東京湾アクアライン・圏央道活用事業は 2,500 千円）



- まちぐるみおもてなし推進事業（東庄町他）
  - ・ 天保水滸伝ゆかり地やいちご狩りなどを回るモニターツアーを実施し、好評を得た。

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419

## 観光地魅力アップ整備事業

予算額 200,000 千円 (H26 200,000 千円)

### 1 事業の目的・概要

多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内板等の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

### 2 事業内容

#### (1) 観光トイレ

ア 補助率：対象経費の2/3以内

イ 補助限度額：上限 10,000 千円

#### (2) 観光トイレ以外の施設

ア 補助対象施設：駐車場、観光案内板、観光案内所

イ 補助率及び補助限度額：

①市町村が整備する場合：対象経費の2/3以内、上限 10,000 千円

②民間事業者が整備する場合：対象経費の1/2以内、上限 5,000 千円

(市町村による 1/6 補助と合わせて 2/3 以内)

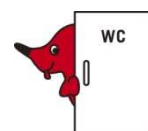


整備事例（香取市 H21 整備）



整備事例（館山市 H25 整備）

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419





## 観光地トイレ整備スピードアップ事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 100,000 千円

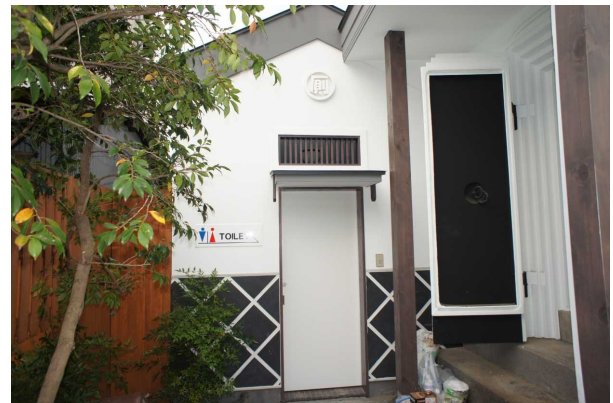
### 1 事業の目的・概要

民間観光トイレの整備に対する助成について、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、補助率を引き上げ、さらなる整備の促進を図ります。

### 2 事業内容

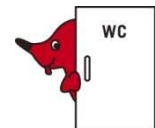
多くの観光客が利用する公衆トイレのうち、民間事業者が所有するトイレの設置・改修について、補助率を引き上げ、さらなる促進を図ります。

補助率：対象経費の3/4以内（従来の2/3から引き上げ）



(H24 流山市民間トイレ)

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419



## 地域消費喚起型事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 3,910,000 千円

- 1 市町村と連携したプレミアム付商品券の発行 (経済政策課) 3,200,000 千円  
市町村と連携してプレミアム付商品券を発行し、地元消費の拡大を通じ、地域経済の活性化を図ります。

(事業のイメージ)

- 市町村と連携し、例えば、販売価格 10,000 円の商品券に 3,000 円から 4,000 円 (市町村：1,000 円から 2,000 円+県：2,000 円を想定) のプレミアムの付いた買い物等に使える「プレミアム付商品券」を発行する。
- 消費者は、市町村が指定する商店等において、域内の商品・サービスを、この商品券を使い、プレミアム分お得に購入することができる。

- 2 ちば宿泊・観光優待キャンペーン事業 (観光企画課) 360,000 千円

県内の宿泊施設で使えるプレミアム付宿泊券等を販売し、観光客の誘致を図ります。

(事業のイメージ)

- 県内の宿泊施設で使える「プレミアム付宿泊券」を販売。  
例えば、販売価格 2,000 円で 5,000 円分の宿泊に使えるなど、プレミアムの付いた宿泊券とする。
- 指定する宿泊施設において、この宿泊券を使ってもらうことで、県内への観光客誘致拡大が期待できる。

- 3 ふるさと産品ネット販売促進事業 (観光企画課) 350,000 千円

本県各地の名産品や農林水産物などの「ふるさと産品」について、インターネットサイトにおいて期間限定で割引キャンペーンを行い、販売促進を図ります。

(キャンペーンのイメージ)

- 販売価格の 30%程度の割引
- 送料無料サービス など

担当課・問い合わせ先 商工労働部経済政策課 043-223-2796 商工労働部観光企画課 043-223-2417
--

## 都内アンテナショップ設置モデル事業【新規】

予算額 20,000千円

### 1 事業の目的・概要

千葉県の観光・物産のPR、企業誘致、移住定住の促進など、県の様々な施策推進に必要な情報収集・発信拠点のあり方について検討を行うため、オール千葉の情報発信拠点を都内に試行的に設置します。

### 2 事業内容

都内において、千葉県のアンテナショップを期間限定で出店し、マーケット調査を行います。

○設置場所 都内（想定：丸の内、銀座周辺）

○設置期間 1か月間

○期間中の企画（案）

- ・ 県観光のPR
- ・ 県産品・県産農林水産物のPR・販売
- ・ 県内市町村の紹介（PRイベント、ツアー旅行の受付等）
- ・ 県内企業の紹介
- ・ 移住定住、企業誘致の相談

### 【出店イメージ】



(海ほたる内 千葉県物産コーナー)



(チーバくん物産館)

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419



# ちばに住もうキャンペーン事業【新規】

予算額 10,000千円

## 1 事業の目的・概要

県内市町村の居住地としての魅力を発信する「電子ブック」を作製し、インターネットを活用して全国に発信することにより、様々な世代の本県への転入を促進します。

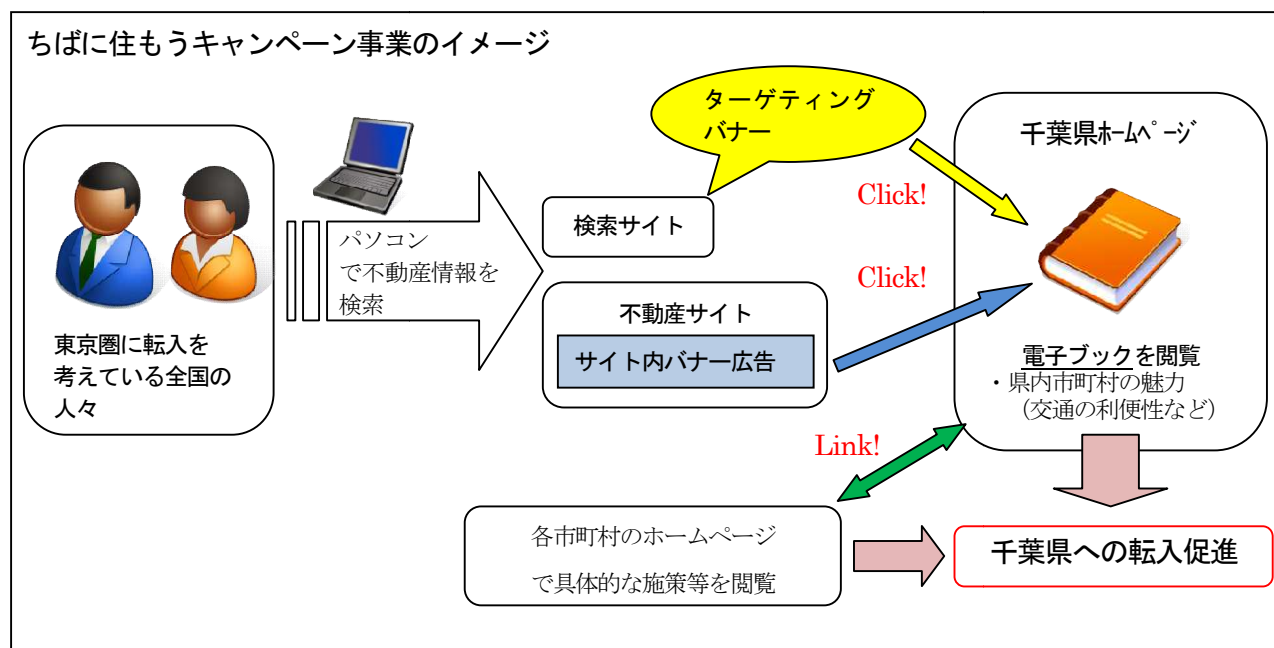
## 2 事業内容

### (1) 居住地としての魅力を発信するための電子ブックの作製

市町村と連携し、豊かな自然環境、交通の利便性、子育て・教育・医療の充実等、転居を考えている人にアピールできる材料を発掘し、千葉に住みたいと感じてもらえる電子ブックを作製します。

### (2) バナー広告の実施

検索サイトや不動産サイトにバナー広告を掲載して、パソコンやスマートフォン等で不動産情報を検索している人を、「電子ブック」にアクセスするよう誘導することにより、本県の居住地としての魅力の周知を図ります。



担当課・問い合わせ先  
総合企画部政策企画課  
043-223-2202

# ちばへの転職支援事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 110,000千円

## 1 事業の目的・概要

県外からの転職希望者や県内の若年者等の地域での就労を支援するため、地域のしごと情報に加え、暮らし全般の情報を提供するとともに、転職に向けた「お試し就業」に対し助成します。

## 2 事業内容

### ○総合情報の提供 30,000千円

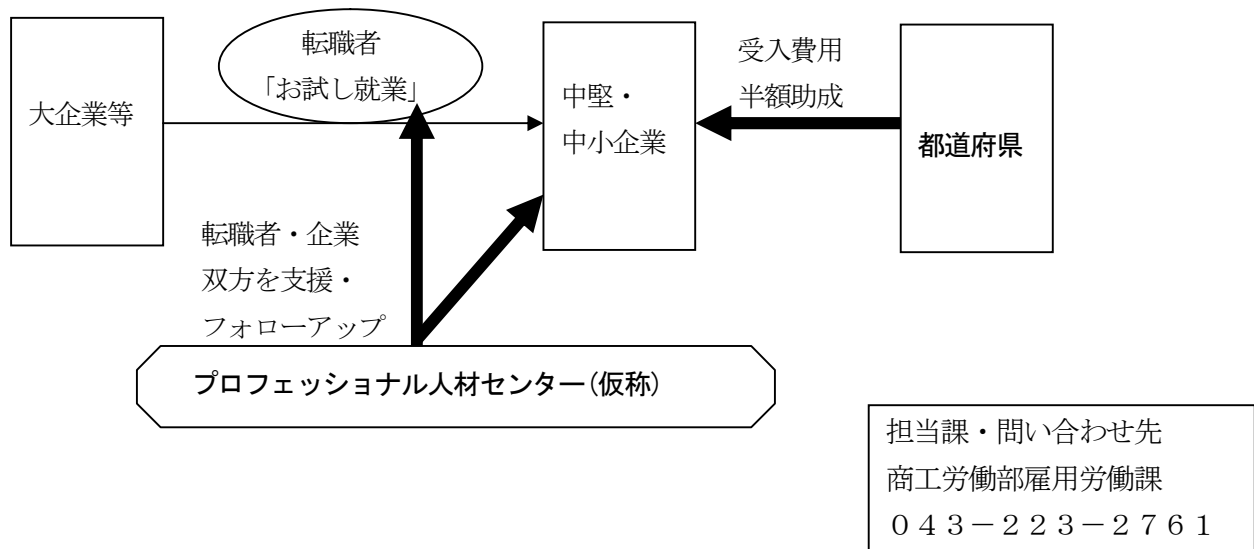
ハローワーク等関係機関と連携し、しごと情報だけでなく居住地の住宅、医療、教育など暮らし全般にかかわる情報を一元的に収集・提供する「地域しごと支援センター（仮称）」を整備する等の取組を実施します。

### ○お試し就業の助成 80,000千円

国と連携し、経営等に携われるスキルの高い人材を必要とする県内中堅・中小企業等と、転職を希望しながらも不安を抱える人材を支援するため、双方のマッチングを行った上で、正式な雇用契約をする前に見きわめを行う「お試し就業」を実施できるよう、お試し期間の給与の半額を助成する事業を実施します。

実施にあたっては、国が運営する「プロフェッショナル人材センター（仮称）」と連携し、窓口を県に設置し、施策の効果を高めます。

### 【想定される事業イメージ】



# 海外における知事トップセールス

予算額 20,000千円 (H26 20,000千円)

## 1 事業の目的・概要

経済のグローバル化が進み、高い経済成長率を維持しているアジア地域は、世界的に注目を集めています。

そこで、千葉の魅力を発信し、アジア地域における交流の促進と農林水産物等の販路拡大、観光客の誘致を図るため、オール千葉体制で観光物産展や商談会などをトップセールスにより行います。

## 2 想定訪問先

アジア地域

## 3 事業内容（予定）

- 千葉県観光と県産農水産物などをPRする「千葉県観光物産展」の開催
- 現地旅行業者等との商談会・交流会の実施
- 現地バイヤー等との商談会・交流会の実施
- 千葉の魅力情報の発信



※写真は昨年10月の様子（台湾）

### <参考>

#### 今までのトップセールスの成果

- 県産農産物の輸出拡大  
タイ（H24 実施）・マレーシア（H25 実施）向け  
梨：（H24）500kg→（H26）3,100kg  
さつまいも：（H24）輸出なし→（H26）950kg
- 訪日教育旅行数の増加  
台湾（H23・H26 実施）・マレーシア（H25 実施）  
海外からの訪問学校数：（H24）1校→（H26）16校

#### 担当課・問い合わせ先

総合企画部報道広報課

043-223-2256

総合企画部国際課

043-223-2392

商工労働部観光誘致促進課

043-223-2484

農林水産部流通販売課

043-223-2959

## 外国人観光客向けプロモーション事業

予算額 24,950千円 (H26 21,400千円)

### 1 事業の目的・概要

昨年の訪日外国人旅行者数は1,300万人を超え、今後も更なる増加が期待できることから、成田空港を擁する優位性等を活かして、外国人観光客を積極的に誘致するため、海外で開催される国際観光博でのPRや観光ミッション団の派遣などを行います。

### 2 事業内容

#### (1) 東アジア・東南アジアに対するプロモーション事業

訪日観光客の増加が著しい東アジア・東南アジアを対象に、現地での国際観光展への出展、官民一体となった観光ミッション団の派遣、現地旅行業者の県内への招請等を行います。

#### (2) 国内インバウンド商談会参加事業

国内で開催されるインバウンドの商談会に出展し、県内の自治体や観光事業者とともに海外の旅行業者等との商談を行い、魅力的な旅行商品の造成を目指します。

#### (3) 海外の大学生モニターを活用した情報発信事業

千葉県魅力を広く海外に発信し、外国人観光客の誘致促進を図るため、海外の大学生を対象としたモニターツアーを実施します。また、現地の国際旅行博等に出展し、ツアー参加者とともに千葉県の魅力をPRします。

### <参考>

#### 千葉県内の外国人延べ宿泊者数（平成25年）

約204万人泊（対前年比 13.6%増）

（観光庁『宿泊旅行統計調査』より：従業者数10名以上の施設を集計したもの）



タイの国際観光展での本県観光PR



国内でのインバウンド商談会

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光誘致促進課  
043-223-2484

## 世界に向けた千葉の魅力発信事業

予算額 39,000千円 (H26 24,000千円)

### 1 事業の目的・概要

海外に向けて千葉の魅力を発信するため、これまでのトップセールス訪問先とお互いの産品等を紹介しあう「相互フェア」の開催や、海外のテレビ番組、車両ラッピング等による交通広告などを活用した情報発信に取り組みます。

この取組により、千葉県の海外での知名度を向上させ、外国人観光客の増加、県産品の販売促進等による県内経済の活性化に繋がっていきます。

### 2 事業内容

#### ○海外におけるテレビ番組、イベント等を活用した千葉の魅力発信事業

これまでのトップセールス訪問先とお互いの産品等を紹介しあう「相互フェア」の開催や、海外のテレビ番組を活用した情報発信に取り組みます。

#### ○海外での交通広告

アジア地域において、車両ラッピング等による交通広告を活用して千葉の魅力を発信し、千葉県の認知度向上とイメージアップを図ります。

#### ○草の根情報発信推進事業

県内在住等の外国人をチーバくん大使に任命し、自ら体験した千葉の魅力を、生活実感を込めて母国語のブログ等で発信していただきます。

#### ○外国プレスを活用した海外への情報発信事業

在京の特派員を対象としたプレスツアーの実施やウェブサイトへの情報提供を通じ、観光・イベント情報等を海外に発信します。

#### ○海外現地メディアを活用した情報発信による千葉の魅力発信事業

通信社等が提供するプレスリリースサービスを活用し、観光や農林水産物のPR活動などについて、海外メディア等に直接、情報を発信します。

#### ○成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出

成田空港を利用する外国人旅行者などに対して、千葉県の知名度向上を図るため、空港内に歓迎メッセージを掲出します。



海外での交通広告（台湾のラッピングバス）



チーバくん大使ツアー（香取神宮）

(参考)

平成26年度台湾でのラッピングバス運行や関連イベントでの反響

- ・千葉県が東京の隣にあることを知った。
- ・千葉県の温泉やお花畑などに行ってみたい。 等

担当課・問い合わせ先

総合企画部国際課

043-223-2392

総合企画部報道広報課

043-223-2252



# 「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業

予算額 24,200千円 (H26 15,950千円)

## 1 事業の目的・概要

県産農林水産物の輸出を拡大するため、トップセールスによるPRを実施するとともに、これまでの成果を生かし、販路拡大につなげていくための販売促進活動や輸出に取り組む生産者・団体への支援を行います。

## 2 主な事業内容

### (1) 県産農林水産物の海外PR 9,684千円

#### ① トップセールスによるPR

訪問先の百貨店等で千葉県フェアを開催し、販路の開拓・拡大・定着を図ります。

#### ② 海外における千葉県フェアの開催

県産農産物の輸出拡大・定着を図るため、海外の百貨店で開催する千葉県フェアの回数を増やして実施します。  
(タイ、マレーシア)



タイでの千葉県フェア

### (2) バイヤー招へい商談会の開催 4,400千円

輸出の拡大が見込まれる梨、メロン、サツマイモなどの園芸品目や水産加工品の販路拡大を図るため、海外輸出を行う国内外のバイヤーを産地に招へいして商談会を開催し、生産者団体の輸出の取組を支援します。(タイ、マレーシア)

### (3) 輸出に取り組む生産者団体への助成 9,026千円

#### ・千葉の農林水産物輸出促進事業

新たな海外販路開拓に取り組む生産者団体等が行う海外での販売促進活動や輸出向けの商品開発等に助成します。

#### ・千葉ブランド農水産物・食品輸出協議会への助成

県内農林水産事業者・食品企業等で構成する同協議会が行う海外での見本市や商談会への出展、輸出実務の支援に対し助成します。

### (4) 農林水産物の輸出環境の整備 1,000千円

東南アジア等に梨やメロンの鮮度を維持しながら低コストで輸出するため、船便での試験輸出を行うなど、輸出環境の整備を図ります。

<参考>これまでの取組により成果につながったもの

- ・梨(豊水) 平成24年に500kgを輸出、平成26年は3,100kgに拡大(タイ、マレーシア)
- ・サツマイモ 平成26年より輸出を開始。初年度は、タイ、マレーシアに950kgを輸出

担当課・問い合わせ先  
農林水産部流通販売課  
043-223-3086

# 海外メディアを活用した観光情報発信事業

予算額 26,600千円 (H26 10,000千円)

## 1 事業の目的・概要

海外での、観光地としての千葉県の知名度を高めるため、現地テレビ制作会社等と連携して旅行番組を制作・放映するとともに、旅行雑誌等とのタイアップや旅行商品の造成により、海外からの観光客の増加を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 対象国(地域)

台湾、タイ、マレーシア(予定)

### (2) 主な事業

- 海外のテレビ制作会社の招請、撮影取材、現地での放映
- 海外メディアの招請、取材、現地旅行雑誌等への記事の掲載
- 千葉県をコースに入れた旅行商品の造成

### <参考>

#### 平成25年度の主な実績

- |         |                  |       |        |
|---------|------------------|-------|--------|
| ○ 台湾    | 旅番組「愛玩客(アイワンクー)」 | 総放送時間 | 約2時間   |
| ○ タイ王国  | 旅番組「スゴイジャパン」等    | 総放送時間 | 約3.5時間 |
| ○ マレーシア | 生活情報番組「Bella」    | 総放送時間 | 約1.3時間 |

### 海外メディアの取材風景



マレーシアのテレビクルー  
【鴨川市前原海岸】



タイ王国のテレビクルー  
【いすみ市大原漁港】

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光誘致促進課  
043-223-2484

## 訪日教育旅行誘致事業

予算額 21,000千円 (H26 17,000千円)

### 1 事業の目的・概要

知事のトップセールス等により、近年増加しつつある海外からの教育旅行をさらに拡大するため、台湾及びマレーシア等において教育旅行説明会等に参加するとともに、教育旅行関係者を招き、県内の教育旅行の素材となる施設等を視察してもらうなど、積極的な誘致活動を展開します。

### 2 主な事業内容

#### (1) 教育旅行プロモーション事業

海外で開催される教育旅行説明会等に参加するとともに、海外の学校と県内の学校の交流を支援します。

#### (2) 教育旅行関係者招請事業

海外の教育旅行関係者を本県に招き、県内の観光地や学校の視察をしてもらうことで、今後の誘致につなげます。

#### (3) 教育旅行資料作成事業

訪日教育旅行を誘致するためのパンフレット等を作成し、海外でのプロモーションに活用します。

### ※ 平成 26 年度の実績 (H27. 1. 30 現在)

海外からの訪問学校数 16 校 (平成 25 年度 12 校、平成 24 年度 1 校)  
(姉妹校及び姉妹都市交流等は含まない)



台湾の高校生と一緒に調理実習 (佐倉東高校)



台湾の高校生を手作りの横断幕でお迎え  
(成田西陵高校)

担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光誘致促進課  
043-223-2484



## 訪日外国人に向けたちばの地酒PR事業【新規】

予算額 2,000千円

### 1 事業の目的・概要

近年、日本食ブームとともに、日本酒に対する外国人の関心が高まっていることから、外国人向けに本県の地酒のPRを行うとともに、「酒蔵体験」等と組み合わせたツアーコースを提案し、外国人観光客の誘客につなげます。

※ 帰国便までの時間などを活用した、成田空港を起点としたツアーの1つとして、酒蔵巡りも今後伸びていくことが期待される。

### 2 事業内容

海外の旅行会社やマスコミの関係者を対象として、ちばの地酒に関係のある酒蔵、和食レストラン等を巡る「酒蔵巡りモニターツアー」を実施します。

※ 単に地酒を提供するだけでなく、地酒の文化や地域の歴史についても理解してもらい、「ちばの地酒」の魅力を情報発信してもらうとともに、「ちばの地酒」を組み込んだ魅力的な旅行商品を造成してもらう。

(酒蔵見学イメージ)



担当課・問い合わせ先  
商工労働部観光企画課  
043-223-2419

## 中小企業振興資金

予算額 190,000,000千円 (H26 190,000,000千円)

### 1 事業の目的・概要

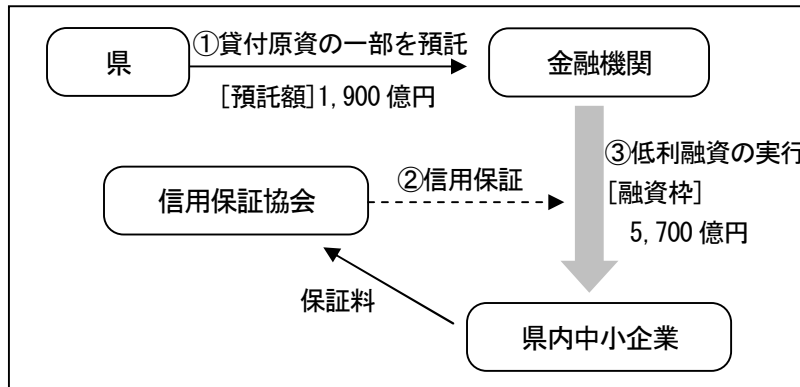
中小企業の経営基盤の安定に必要な資金を円滑に提供するため、金融機関等と協力して、県内の中小企業に対して低利融資（制度融資）を行います。

景気が緩やかに回復する中で、中小企業の積極的な設備投資等を支援するため、平成27年度も過去最大の融資枠を継続します。

### 2 事業内容

[融資枠] 5,700億円 (H26 5,700億円)

[事業のしくみ]



①県は、金融機関に貸付原資の一部を無利子で預託し、融資利率の低減を図ります。

②信用保証協会は、融資実行に際し信用保証を行い、融資機会を拡大します。

③各金融機関は、審査のうえ融資を実行します。

[主な資金]

資金名	対象者等	資金使途・限度額	
一般的な資金	事業資金	一般的な事業資金を、固定金利で長期間借りたい方 (27年度から動産担保融資を導入)	設備資金 1億円以内 運転資金 8,000万円以内
	小規模事業資金	従業員数が20人以下(業種により5人以下)の方 に対して、融資利率の低減を行います。	設備資金、運転資金 合わせて5,000万円以内
	スタート短期資金	短期の利用の方に対して、融資利率の低減を行います。	運転資金 1,200万円以内
創業資金	新しく事業を始めようとする方や創業後5年未満の方	設備資金、運転資金 合わせて2,500万円以内	
経営力強化資金	認定経営革新等支援機関の支援を受けて事業計画を策定し、事業を行う方	設備資金、運転資金 合わせて8,000万円以内	
セーフティネット資金	売上減少、取引先の倒産等により経営の安定に支障が生じている方	設備資金、運転資金 合わせて8,000万円以内	

※融資利率は融資期間に応じた固定金利となります。平成27年度の金利は、3月に決定します。

担当課・問い合わせ先  
商工労働部経営支援課  
043-223-2787

# 動産担保融資に係る手数料補助【新規】

予算額 20,000千円

## 1 事業の目的・概要

不動産担保や個人保証に依存しない融資が求められているなかで、中小企業の機械設備や車両等の導入を支援するため、中小企業振興資金に、新規導入する機械設備等を担保として融資を行うメニューを追加します。

併せて、制度の利用促進を図るため、機械設備等を担保として提供する際に生じる手数料に対して助成します。

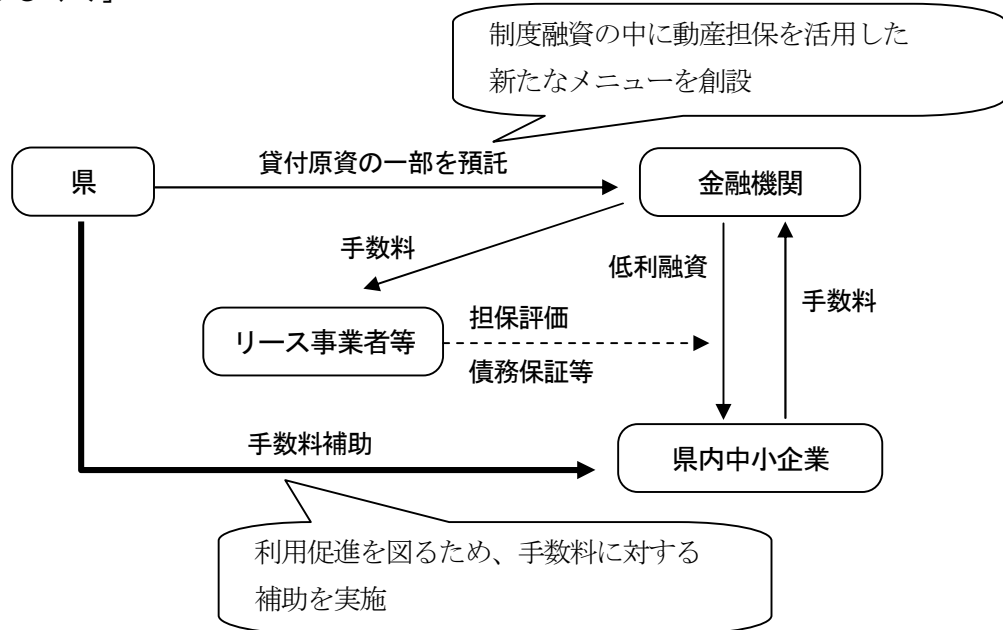
## 2 事業内容

これまで担保として利用されてこなかった機械設備や車両等を、担保として新たに利用するためには、リース事業者等に担保評価や債務保証等を依頼する際に発生する手数料を中小企業が負担することとなることから、その負担を軽減するため助成を行います。

**[補助対象]** 中小企業が負担する、担保評価費用、担保の買取りや債務保証に係る費用などの手数料

**[補助限度額]** 融資額の4%

**[事業のしくみ]**



担当課・問い合わせ先  
商工労働部経営支援課  
043-223-2787

# 千葉の未来を支える成長産業の育成

予算額 40,000千円 (H26 14,000千円)

## 1 事業の目的・概要

本県経済の持続的な発展に資する成長産業を育成するため、今後国内外の市場拡大が見込まれる健康・医療分野について、優れた技術を持つものづくり中小企業を対象とした新規参入・人材育成・販路開拓支援や、医療現場のニーズとものづくり技術とをつなげる取組（医工連携）を推進します。

※ 本県は、日本有数のがん治療を行う研究系医療機関があるほか、近隣に医療機器メーカーの集積があることなどから、健康・医療分野の今後の成長が期待される。

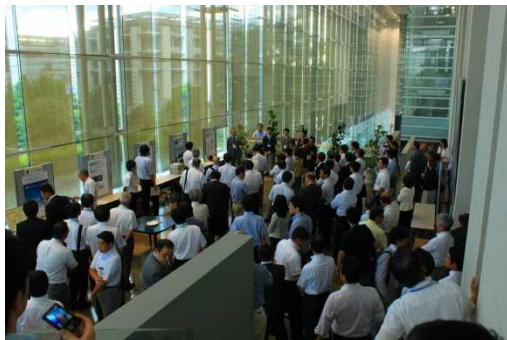
## 2 事業内容

### (1) ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議の運営

中小医療機器メーカーや部材供給企業、参入意欲を有する中小企業を支援するために設立された「ちば健康・医療ものづくり産業支援推進会議」の運営を通じ、医工連携の取組をサポートします。

#### 【具体的な事業イメージ】

##### ◆企業・医師による交流イベント



##### ◆新規参入のためのセミナー



### (2) 医工連携コーディネーターの配置

ものづくり中小企業からの各種相談への対応や、企業同士の連携（マッチング）、商品開発などを支援するため、健康・医療分野に知見を有する専門人材である医工連携コーディネーターを配置します。

### (3) 本格参入に向けた人材育成・販路開拓支援

健康・医療分野への本格参入に向けて、知っておくべき業界動向、特有の法規制、国内外の商慣習に関する知識や、自社の強みを活かした事業の進め方などを学ぶ人材育成セミナー、国内大規模展示会への共同出展の実施に加え、販路開拓の伴走支援を行うアドバイザーを設置します。

担当課・問い合わせ先  
商工労働部産業振興課  
043-223-2717

## 特別会計工業団地整備事業

予算額 2,824,000千円 (H26 726,000千円)

### 1 事業の目的・概要

東京湾アクアラインの料金引下げ及び圏央道東金・木更津間が開通し、東京湾アクアラインを經由して松尾横芝インターチェンジまでが直結したことを契機として、企業を誘致し、地域経済を活性化するため、茂原にいほる工業団地及び袖ヶ浦椎の森工業団地の整備を進めます。

### 2 事業内容

#### (1) 工業団地の概要

##### ○茂原にいほる工業団地

所在地 茂原市下太田（圏央道・茂原北 I C から約 2.5km）

開発面積 約 42.3 ha

総事業費 約 39 億円

##### ○袖ヶ浦椎の森工業団地

所在地 袖ヶ浦市椎の森（館山道・姉崎袖ヶ浦 I C から約 2.5km）

開発面積 約 50.5 ha

総事業費 約 56 億円

#### (2) 事業スケジュール

平成 25 年度～26 年度 調査・設計

平成 26 年度～29 年度 造成工事

平成 29 年度 分譲開始



担当課・問い合わせ先  
商工労働部企業立地課  
043-223-2421

## 立地企業補助金

予算額 500,000千円 (H26 500,000千円)

### 1 事業の目的・概要

県内に立地した企業に対し補助金を交付することにより、県内への企業立地を促進するとともに、地域経済の活性化と雇用の確保を図ります。

### 2 事業内容

#### (1) 工場立地

工業団地等への工場立地の促進を図るため、工場の新規立地に対し、補助を行います。

- ・補助額：建物に係る不動産取得税相当額及び償却資産に係る固定資産税相当額  
(限度額：10億円)

#### (2) がんばる市町村連携

民有地などへの工場等の立地の促進を図るため、市町村が助成等を行う新規立地に対し、補助を行います。

- ・補助額：建物に係る不動産取得税相当額 (限度額：10億円)

#### (3) 競争力強化(再投資支援)

マザー工場化などの県内立地企業の拠点強化に向けた再投資に対し、補助を行います。

- ・補助額：建物に係る不動産取得税相当額 (限度額：10億円)

#### (4) マイレージ型(累積投資型) 全国的にも先進的な取組

県内中小企業のさらなる成長に向けた工場の増設などの再投資に対し、補助を行います。

- ・補助額：建物に係る不動産取得税相当額 (限度額：10億円)

#### (5) 雇用創出支援

一定規模の雇用創出を創出する企業の立地を促進するため、県内在住者の雇用に対し、補助を行います。

- ・補助額：正規雇用者 5万円/人、高度人材 30万円/人  
非正規雇用者 2万円/人 (限度額：1億円)

担当課・問い合わせ先  
商工労働部企業立地課  
043-223-2422



## 戦略的企業誘致の推進

予算額 18,044千円 (H26 16,300千円)

### 1 事業の目的・概要

平成26年3月に見直しを行った「企業立地の促進に関する基本方針」のもと、消費地に近く、国際空港を有するなど本県の立地環境の優位性を活かした、戦略的な企業誘致を実施するため、トップセールスなどを強化するとともに、企業進出支援体制の充実を図り、企業立地を促進していきます。

### 2 事業内容

#### (1) 誘致トップセミナー

本県への企業立地を促進するため、首都圏と関西圏で企業誘致トップセミナーを開催し、千葉の魅力やポテンシャルをPRします。

#### (2) 企業誘致推進役の配置

企業ニーズを踏まえた企業誘致を実施するため、営業ノウハウ等を持った民間企業出身者を活用し、誘致活動に取り組みます。

#### (3) 関西地区企業誘致専門員の配置

関西地区の企業誘致体制を充実させるため、現地に企業誘致専門員を配置し、これまで以上に旬な情報収集に努めます。



(参考) 千葉県への工場立地件数

平成23年	平成24年	平成25年
23件	27件	33件

担当課・問い合わせ先  
商工労働部企業立地課  
043-223-2422

# 東京湾アクアライン・圏央道を活かした地域産業活性化事業

予算額 40,000千円 (H26 30,000千円)

## 1 事業の目的・概要

東京湾アクアライン及び圏央道を活かし、県内の産業活性化を図るため、農林水産物や観光資源、中小企業の生産・加工技術などの地域資源を連携させて、新たな商品やサービスを開発する取組に対し、アドバイザーを派遣して支援を行います。

平成27年度は特に、商品のブラッシュアップや販路開拓に対する支援を強化するため、新たにバイヤー等経験者をアドバイザーとして配置します。

## 2 事業内容

### (1) 地域資源活用アドバイザーの設置事業

- ・新商品・新サービスの開発・事業化に係る相談・助言及び連携先のコーディネート
- ・国・県等の支援策に関する情報提供、支援策活用に向けたアドバイス
- ・地域のブランド化に取り組む市町村・商工団体等への相談・助言等の支援
- ・バイヤーや卸売業者等を集めた展示商談会（商品のブラッシュアップなど）

### (2) デザイン戦略によるブランド力強化事業

- ・商品ブランド力を高めるための実践的なセミナーの実施
- ・地域ブランド力を高めるためのローカル・デザインに関連したワークショップの開催

### 【事業イメージ】

- ① 地域資源（農林水産物や観光資源、中小企業の生産・加工技術など）を連携し、新商品・新サービスの開発・商品化を進める。
- ② デザイン戦略により、商品ブランド・地域ブランドの付加価値を高める。
- ③ 東京湾アクアライン及び圏央道を活かし、当該地域以外（アクアライン対岸等）への販路拡大を図り、当該地域の活性化につなげる。

(地域資源の例)



ブルーベリー



イセエビ・アワビ



サンブスギ

担当課・問い合わせ先  
商工労働部産業振興課  
043-223-2717



# 海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業

予算額 20,000 千円 (H26 1,000 千円)

## 1 事業の目的・概要

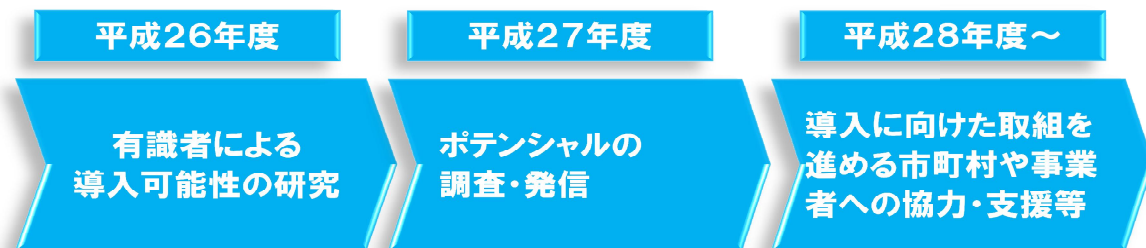
本県沖は、全国の中でも、海洋再生可能エネルギー(洋上風力、波力)のポテンシャルが高いとされており、洋上風力発電等の導入により、将来的な産業振興や地域振興が期待されます。

このため、平成26年度は、有識者等による導入可能性研究会を開催し、海洋エネルギーの可能性や課題を様々な角度から整理しているところです。

平成27年度は、研究会での議論を踏まえ、本県沖における客観的なデータを取得し、そのポテンシャルを示すことにより、地域における海洋再生可能エネルギーの導入に向けた機運の醸成を図ります。

## 2 事業内容

本県沖の風況等について面的な調査を実施します。



スコットランド、ソルウェイ・ファースの洋上風力ファーム  
(提供) スコットランド国際開発庁

担当課・問い合わせ先  
商工労働部産業振興課  
043-223-2797

# 千葉の特色を活かした水素の利活用に関する研究【新規】

予算額 1,000 千円

## 1 事業の目的・概要

国は、平成26年6月に策定した「水素・燃料電池戦略ロードマップ」に基づき、水素社会の実現に向けた取組を加速させています。

本県は、京葉臨海コンビナートを抱えるなど、水素の一大供給拠点として機能していくことなどが期待されることから、本格的な水素社会の到来を控え、県として、水素をどのように利活用すべきか、本県の特徴を踏まえた研究を行います。

なお、研究成果については公表し、産業やまちづくりといった各分野における水素の利活用に関する検討が活性化することを期待します。

## 2 事業内容

本県の特徴を踏まえた水素の利活用について、有識者による研究会を年4回程度開催します。

[主な研究内容（案）]

- 県内において水素を利活用できる分野の洗い出し（想定される分野）
  - ・新しい「まちづくり」と水素の利活用
  - ・公共交通機関及び交通インフラへの水素の利活用
  - ・京葉臨海コンビナート（水素生成、貯蔵）
  - ・防災・危機管理（水素の非常用電源としての活用）
- 各分野における水素利活用に関する課題の整理
- 課題解決のための手法の検討

## 水素社会実現の意義

（出典：「水素・燃料電池戦略ロードマップ」より作成）

### 1 省エネルギー

燃料電池の活用によって大幅な省エネにつなげる

### 2 エネルギーセキュリティ

水素は、製造原料の代替性が高く、副生水素など未利用エネルギーや、再エネを含む多様な一次エネルギーから製造が可能であることなどから、こうした利点を活かして利用を拡大することで、エネルギーセキュリティの向上につなげる。

### 3 環境負荷低減

水素は利用段階でCO<sub>2</sub>を排出しないことから、再エネ由来水素を活用することで、環境負荷の低減、更にはCO<sub>2</sub>フリーにつなげる。

### 4 産業振興・地域活性化

日本の燃料電池分野の特許出願件数は世界一位で、日本が強い競争力を持つ分野。また、水素製造等については、再エネ等の地域資源を活用可能。

担当課・問い合わせ先  
商工労働部産業振興課

043-223-2797

# ちば起業家応援事業【新規】

予算額 12,000千円

## 1 事業の目的・概要

女性・若者・シニア等の新たな発想による起業を促進するとともに、優秀な起業家を育成していくためビジネスコンペティションを実施するなど、啓発から起業支援、経営支援、人脈づくりまで一貫した支援を行います。

## 2 事業内容

### (1) ビジネスコンペティションの開催

起業気運の醸成を図るための起業支援イベントの開催と併せて、優秀な起業家を育成していくためのビジネスコンペティションを実施します。

- ①情報発信、②ビジネスコンペティション開催、
  - ③起業家によるチャレンジショップの出店、④起業家同士の交流機会の提供 等
- (コンペティションの内容)

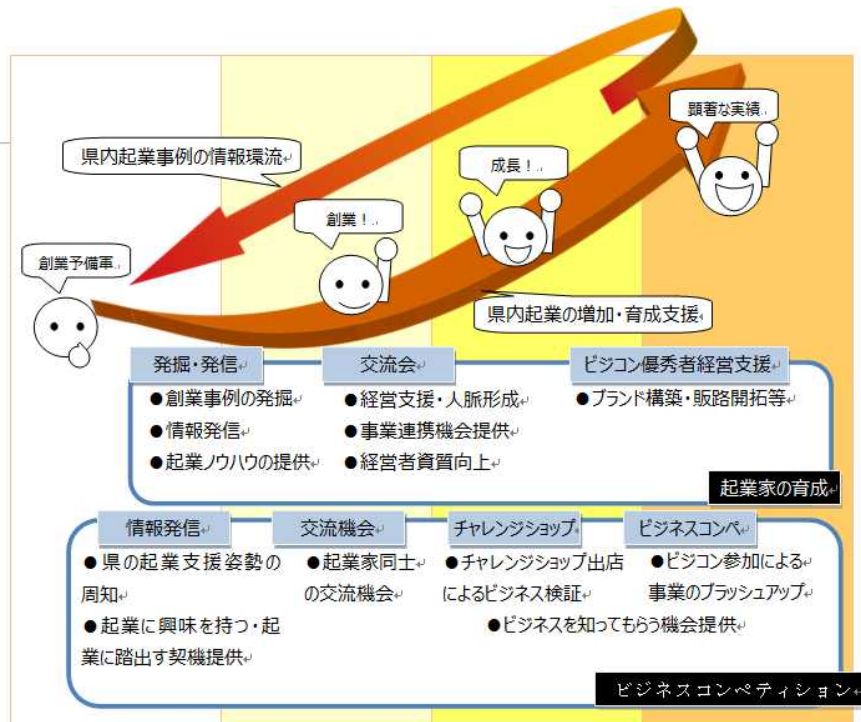
優秀者：3名程度を想定

優秀者への支援：無料での専門家派遣等を実施

### (2) 起業家の育成

ビジネスコンペティションと連動して、起業家の発掘、人脈形成、経営支援等、経営者としての資質向上のための支援を行います。

- ①起業事例集の作成・情報発信、②起業家講習会・交流会開催
- ③ビジネスコンペティション優秀者への専門家派遣 等



担当課・問い合わせ先  
商工労働部経営支援課  
043-223-2787

# 市町村による創業支援促進事業【新規】

予算額 10,000千円

## 1 事業の目的・概要

地域における開業率が低迷している状況の中、民間活力を高めていくため、産業競争力強化法により、市町村が主体となって地域の創業支援を行っていくこととされました。

このため、本県でも、市町村の創業支援事業計画の策定や創業支援体制の構築、創業支援事業を実施するなどの取組を支援し、全県的な創業の活性化を図ります。

## 2 事業内容

### (1) 対象となる取組

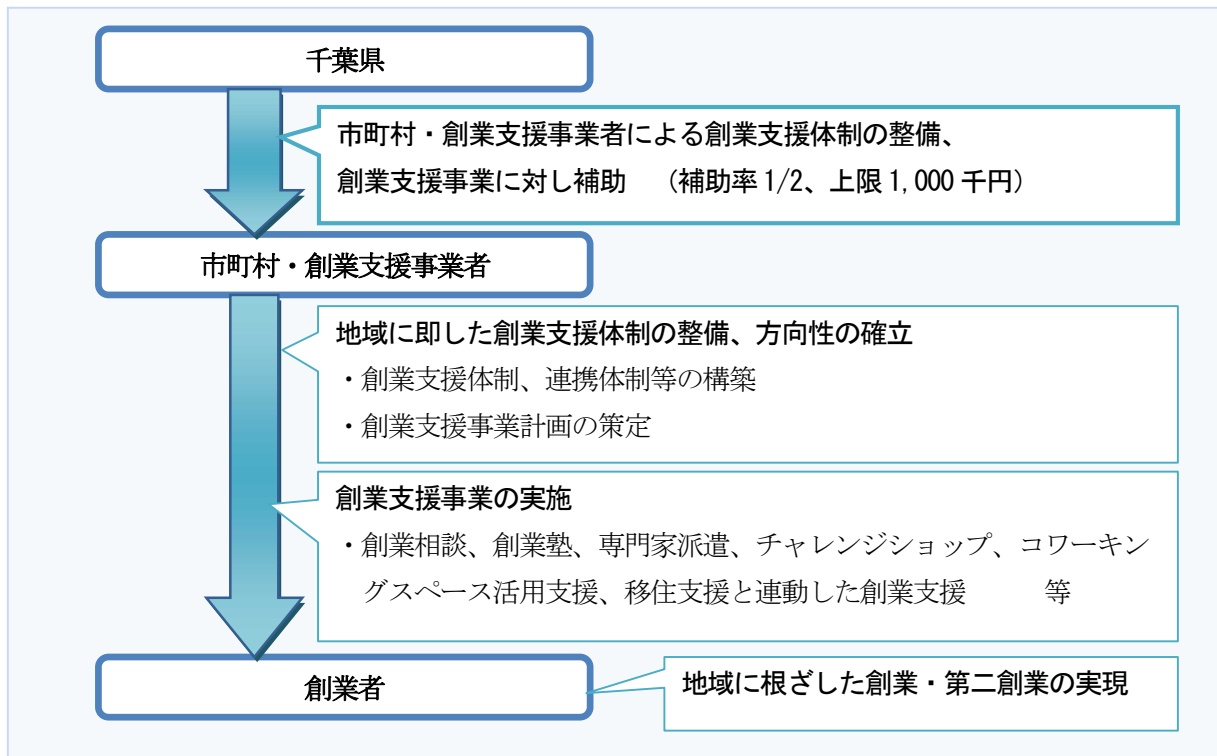
創業支援体制の構築、創業支援事業計画策定に向けた専門家派遣  
創業相談、創業塾、創業事例集の作成 等

### (2) 補助対象者

市町村、創業支援事業者

### (3) 補助率・補助限度額

補助率：1/2 限度額：1,000千円



担当課・問い合わせ先  
商工労働部経営支援課  
043-223-2787

# ジョブカフェちば運営事業、千葉県ジョブサポートセンター事業

予算額 172,589千円 (H26 205,700千円)

## 1 事業の目的・概要

求職中の若者や中高年者、子育て中の女性などの就職・再就職をきめ細かく支援するため、ジョブカフェちば事業や千葉県ジョブサポートセンター事業を実施します。

## 2 事業内容

### 若年者対象



(H16. 6開設) 予算額 136,851千円

正規雇用を目指す若年求職者に対する就労支援及び若年人材の確保に悩む中小企業の採用活動支援を行います。

#### 主な機能

(若年求職者向け支援メニュー) 個別相談、適職診断、セミナーの実施  
(企業向け支援メニュー) 若者と中小企業のマッチングイベント、採用・定着支援の実施

### 主に中高年齢者・子育て中の女性対象

千葉県ジョブサポートセンター (H21. 7開設) 予算額 35,738千円

主に中高年齢求職者、子育て中の女性求職者に向け、総合的な就労支援を行います。

#### 主な機能

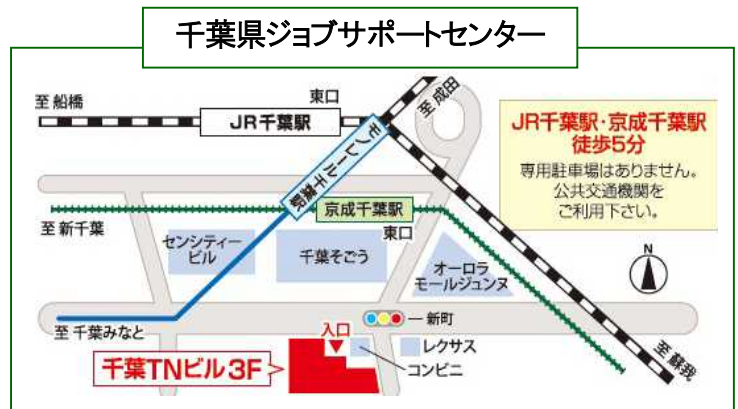
(求職者向け支援メニュー) 個別相談、適職診断、再就職支援セミナー

ともに施設内にハローワークを設置し就労支援と職業紹介のワンストップサービスを実施しています。



船橋市本町 1-3-1 フェイスビル 9階  
JR 船橋駅(南口)・京成船橋駅より徒歩 2分  
東武船橋駅より徒歩 3分

受付時間 9:00~17:00  
休館日: 土曜・日曜・祝日



利用時間  
【平日】 9:00~17:00  
【土曜日】 10:00~17:00  
休館日: 日曜・祝日

担当課・問い合わせ先  
商工労働部雇用労働課  
043-223-2740



## 緊急雇用創出事業

予算額 758,544 千円 (H26 1,688,252 千円)

### 1 事業の目的及び内容

国の交付金により造成した緊急雇用創出事業等臨時特例基金を活用し、地域の雇用の創出及び在職者の処遇改善のための取組を実施します。

### 2 事業内容

#### ○ 県事業 412,600 千円

##### <主な事業>

##### ・若年者就労応援事業

就職の決まらない若年者の正規雇用による就職と人材確保に難を抱える県内中小企業の若年人材確保を支援します。

・若年求職者に対し、社会人として必要な基礎的能力を身につける研修（約1か月）や県内企業等における職場実習（約3か月）による就労支援を行い、正規雇用による就職につなげます。

・就職後も若年就労者へのメンタルトレーニングや育成指導者に対するセミナー等による職場定着支援を行います。

##### ・中小企業職場定着支援事業

離職率が高い県内中小企業に対し、若手社員の職場定着に向けた研修や、中堅社員による若手社員育成セミナー、経営者・管理職の職場環境改善等に関するコンサルティングなどを実施し、中小企業における人材の安定確保を図ります。

##### ・健康・医療ものづくり販路開拓営業人材等育成事業 【再掲】 P44

県が今後重点的に支援することとしている健康・医療ものづくり関連の中小企業を対象に、販路拡大の取組を支援し、人材を育成するとともに、賃金上昇により在職者の処遇改善を図ります。

#### ○市町村等への補助事業 342,152 千円

※平成27年度の雇用創出数：430人、処遇改善対象事業所数：225事業所

平成20年度～26年度までの累計 雇用創出人数：約21,000人(事業費 279億円)

担当課・問い合わせ先

商工労働部雇用労働課 043-223-2740

<健康・医療ものづくり販路開拓営業人材等育成事業>

商工労働部産業振興課 043-223-2717

# 福祉・介護人材雇用推進事業【新規】

(地域住民生活等緊急支援のための交付金事業 2月補正分)

予算額 130,000千円

## 1 事業の目的・概要

高齢化の進展等により、福祉・介護のニーズがますます高まる中、福祉・介護の現場においては、人材確保の困難な状況が続いています。

離職者が県内の社会福祉施設等で就業する機会を提供するとともに、就業中に介護の資格を取得するための研修を行い、雇用の創出及び福祉・介護人材の育成・確保を図ります。

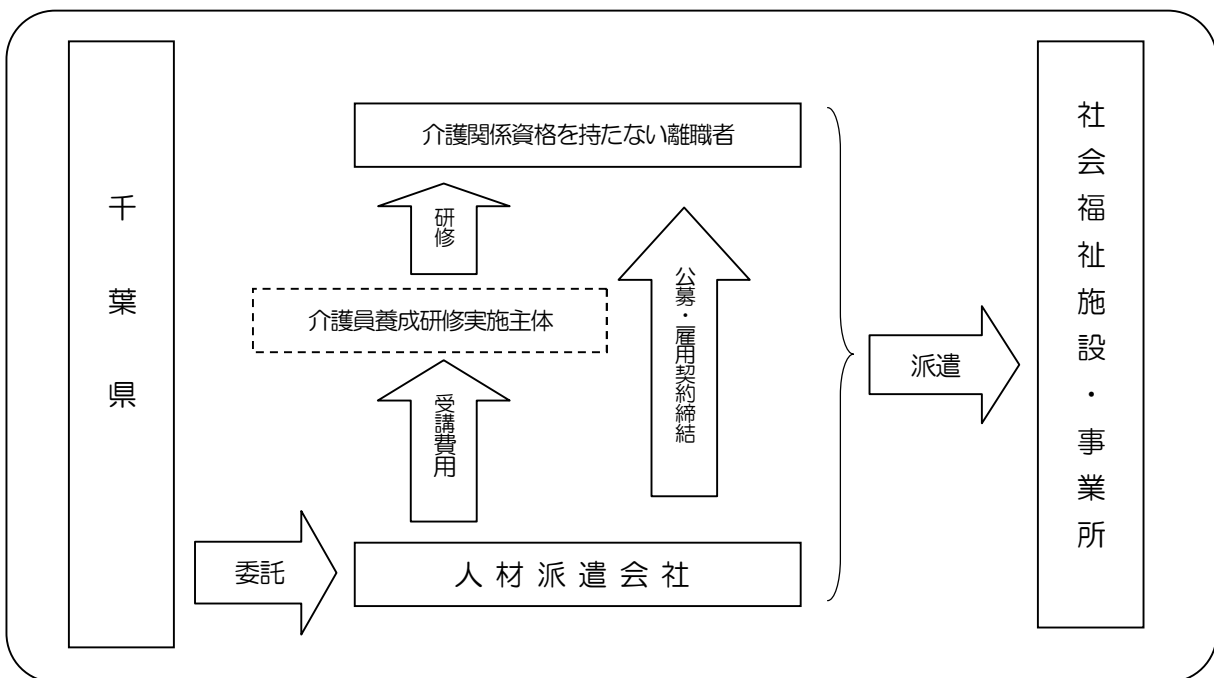
## 2 事業内容

人材派遣会社への委託により、離職者 160 名を約 4 か月間県内の社会福祉施設等に介護補助員として派遣します。

県は、社会福祉施設等に派遣された介護補助員の給料等の一部を負担します。

派遣期間中に介護職員初任者研修を受講させ、介護の資格を取得させることにより、介護職員としての就労継続を支援します。

[事業のイメージ]



担当課・問い合わせ先  
健康福祉部健康福祉指導課  
043-223-2606

# 障害者雇用サポート事業【新規】

予算額 35,000千円

## 1 事業の目的・概要

障害者の就労意欲が高まるなか、障害の特性の理解不足等から雇用に踏み切れない企業が多いことから、障害者の雇用拡大を円滑に進めるため、法定雇用率を達成していない企業等を対象に、障害者の受入に向けた準備やマッチング、障害者就労アドバイザーによる受入後のフォローアップ支援などを実施します。

## 2 事業内容

[対象企業] 県内の法定雇用率未達成企業等

[委託内容] ・ビジネスマナー等、障害者の就労に向けた基礎的訓練

- ・県内企業における就労実習及びマッチング
- ・受入後の障害者就労アドバイザーによる定期巡回等のフォローアップ

